

わが街 Watching My Town Watching

飛び出せ！まちづくりのリーダー

NPO・ボランティア講座

3月23日、田川市民会館でNPO・ボランティア講座「まちづくりのリーダーの養成」が開催され、NPO・ボランティア活動団体や自治会などの関係者約30人が参加しました。

今回の講座では、講師に株式会社アーバンデザインコンサルタント取締役の十時裕さん（田川市出身）が、実際に行われている住民参加型のまちづくりの事例などを紹介。その後参加者は5班に分かれ、ボランティアの定義などについて話し合いを行いました。

講演の中で十時さんは「社会問題や地域課題を解決するには、NPO・ボランティア、そして地域のみなさんの力が必要です」と訴えました。



▲話し合いの輪に加わり、わかりやすく解説する十時さん(右から4人目)

B-1グランプリの仕掛け人

渡邊英彦さんがまちづくり講演会

3月29日、田川市民会館で「B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリ」の発起人であり、静岡県富士宮やきそば学会会長の渡邊英彦さんを講師に招き、「食による地域ブランド確立とマーケティング戦略」と題したまちづくり講演会が開催され、約60人が参加しました。

講演では、富士宮やきそば学会がこれまでで行ってきた活動などを紹介し、マスメディアへの情報発信の大切さなどを訴えました。参加者は、渡邊さんのジョークを交えた軽快な話に引き込まれ、熱心な様子で耳を傾けていました。

渡邊さんは「地域の良いものをみんなで伝えていくことがまちおこしにつながる。可能性は無限です」と話しました。



▲「面白そう」と思われるようなネーミングが重要と話す渡邊さん



宇宙誕生の謎を解き明かす

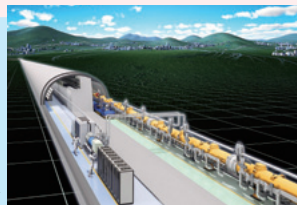
国際リニアコライダーを九州に!!

宇宙のはじまりとされる「ビッグバン」を再現し、宇宙誕生の謎に迫る「国際リニアコライダー (ILC) 計画」が世界の注目を集めています。

この計画は、世界の国々が協力して、全長30～50kmのトンネルに「巨大加速器」を建設し、世界中から集まった研究者が、人類共通の謎に挑むもので、福岡県と佐賀県にまたがる脊振山地はその ILC 建設の有力候補地となっています。

ILC 計画が脊振地域で実現すれば、世界中の多くの研究者などが居住、滞在し、研究者

ILCイメージ
(c)Rey. Hori/KEK



たちと住民の交流を通じて、アジアでも類を見ない文化・学术交流の機能を兼ね備えた国際研究都市が生まれます。

人類の進歩と基礎科学の発展に大きく貢献する ILC 計画の九州での実現に向けて、多くのみなさんのご理解とご支援をお願いします。

◆問い合わせ
福岡県ILC推進プロジェクト
チーム
shinsan@pref.fukuoka.lg.jp



ILC アジア九州
推進会議へのリンク



福岡県は脊振地域での ILC 計画の実現を目指しています。